

2022年7月13日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 小林 茂
(コード：4583 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

Heidelberg Pharma との ADC 技術導入およびオプション契約締結のお知らせ

この度、当社は Heidelberg Pharma が保有する抗体薬物複合体（ADC）に関する技術である ATAC[®] Platform の技術導入およびオプション契約を締結しましたので、お知らせいたします。

ATAC[®] Platform は、キノコ由来の毒素であるアマニチンを抗体に付加することにより、抗体が結合する細胞の殺傷能力を高める技術です。これまでに当社の創薬プロジェクトの一つである PCDC（ヒト化抗 CDCP1 抗体の薬物複合体、標的分子：CDCP1）において、アマニチンを搭載した ADC 抗体によって有意な抗腫瘍活性を示すデータが得られており、この度、本契約の締結に至りました。

当社ではこれまでにアマニチン以外の薬物を PCDC に搭載することで取得した薬効データ等を用いて導出活動も進めてまいりましたが、本契約に基づく技術導入により、今後 PCDC のデータパッケージをさらに補強し、導出活動を加速してまいります。また、当社は Heidelberg Pharma が保有する ATAC[®] Platform をサブライセンスする権利を有しており、PCDC がアマニチンを用いた治療用抗体として導出が決定した場合には、当社が受領する収益の一部を Heidelberg Pharma に支払うこととなっております。

なお、本契約締結により Heidelberg Pharma へのライセンスフィーの支払いが発生しますが、2022年12月期の研究開発費の金額に対する影響は軽微であります。

以 上

<Heidelberg Pharma について>

Heidelberg Pharma は、1997年創立のドイツ、Ladenberg に本部を置く企業で、フランクフルト証券取引所に上場しています（symbol：HPHA）。同社は、独自の Antibody Targeted Amanitin Conjugate（ATAC[®]）技術フォームを有し、アマニチンを癌領域での治療に応用した最初の企業です。現在、当社では自社臨床開発と第三者との共同研究の両軸で、多様な標的抗体へのアマニチンの適用が進められています。ATAC[®] Platform は Heidelberg Pharma の EU 登録商標です。（<http://www.heidelberg-pharma.com/>）

<PCDC について>

PCDC は、肺がん・結腸直腸・膵がんなどの多くのがんにおいて高発現し、がんの悪性度と関連した発現パターンを示す CDCP1 分子を特異的に認識するヒト化抗体です。当社の創薬パイプラインのひとつとして、研究を進め本抗体の特許出願も完了しております。当社では、本抗体のライセンス契約獲得に向けて積極的に導出活動を進めております。